

災害に備える

住んでいる自治区とハザードマップを確認しましょう

あなたは自分の住んでいる自治区がどこなのか知っていますか。
災害時の避難情報は、自治区ごとに発令するので、自宅がどの自治区なのか確認しておくことが非常に重要です。
また、自宅周辺のハザードマップを確認しておきましょう。

避難情報（高齢者等避難、避難指示）の発令は、

どこの＝災害が起こりそうな対象区域と
だれに＝避難行動が必要な対象者を

可能な限り絞り込んで行うことになっています。

これは、避難行動が必要な人に**確実な行動**を促すためのものです。

防災気象情報の切迫度の高まりに応じて、警戒レベル3 高齢者等避難（避難に時間を要する人）、警戒レベル4 避難指示（対象者全員）、警戒レベル5 緊急安全確保を発令します。

浸水害、土砂災害時での避難情報は、災害リスクなどがある区域に、自治区単位で発令することを基準とします。

※台風など災害の種類や災害規模によって、町内全域に発令することもあります。

【例1】〇〇時〇〇分、**警戒レベル3 高齢者等避難**。

対象は〇〇区、△△区、□□区の浸水想定区域及び土砂災害想定区域内の住民です。避難に時間を要する人は、避難行動を開始してください。



【例2】〇〇時〇〇分、**警戒レベル4 避難指示**。対象は

〇〇区、△△区、□□区、××区の浸水想定区域、土砂災害想定区域及び家屋倒壊等氾濫想定区域内の住民です。該当する人は、ただちに避難行動を開始してください。



【例3】〇〇時〇〇分、**警戒レベル5 緊急安全確保**。

対象は〇〇区、△△区の土砂災害想定区域内の住民です。該当する人は、ただちに命を守る行動を行ってください。



町の避難情報は、防災メールまもるくん、Yahoo! 防災速報アプリ、福岡県庁公式 LINE アカウント、防災行政無線などでお知らせします。町の防災行政無線の放送内容を聞き逃した場合は、電話（有料）で確認できます。

【電話番号】 ☎0180-999-992

災害発生時に一番頼りになるのが、隣近所や自治区内での助け合いです。自治区未加入の世帯は、これを機に自治区への加入を考えてみませんか。



9月1日は 防災の日



▷ 問い合わせ 庶務係
(☎ 2 2 3 局 3 5 7 2)

※防災の日は、1923年9月1日、10万人以上の死者・行方不明者を出した関東大震災に由来しています。

ハザードマップとは

ハザードマップとは、災害が発生したときに、危険と思われるところや災害時の避難場所などを地図にまとめたものです。

自宅が洪水、土砂災害、津波などの災害想定区域に入っていないかや災害時の危険箇所を事前に確認することができます。

芦屋町ハザードマップは、役場にあります。また町のホームページからも見ることができます。



Yahoo! 防災速報アプリ



Android 端末は
こちら



ios 端末は
こちら



防災メールまもるくん



災害時の情報などをメールで知らせます。

福岡県 LINE 公式アカウント



災害時の情報などを配信しています。

「避難」とは「難」を「避ける」ことであり、避難所に行くことだけではありません。避難行動には、以下の4つの行動があります。

- 【立ち退き避難】 ①開設した避難場所 ②安全な親類や知人宅 ③安全なホテルや旅館
 【屋内安全確保】 ④自宅の2階などで災害が収まるまで安全に過ごせる場合

※土砂災害想定区域内と家屋倒壊等氾濫想定区域内は、立ち退き避難を行ってください。



ひなん
「避難」って何すればいいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避ける」こと。下の4つの行動があります。



行政が指定した避難場所への立ち退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等



安全な親戚・知人宅への立ち退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



普段からどう行動するか決めておきましょう

安全なホテル・旅館への立ち退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

■ ■ ■ 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立ち退き避難が原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

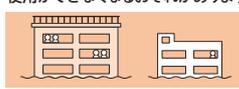


地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

3~4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

③ 広報あしや 2021. 9